

「こえる場！」ニュースレターVol.10 令和6年11月発行

「こえる場！」交流会 10/18開催

初めてグループワークなしのフリートーク形式で交流会を開催し、46名の方に参加いただき、思い思いに移動いただいております。



高島市長

様々な社会課題がありますが、行政だけで解決できる問題のごくわずかだと思います。
市民の方々とともに、色んな民間の方々と一緒に解決していけると未来をつくっていけると思っています。
ぜひ、民間の方同士でも仲良くなっていただいて、こんなこと芦屋でできるかな、こんなこともっともっと未来に向かっていけるかな、と創発が生まれるような場になればと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。



市地域福祉課
主幹 吉川

「こえる場！」は、市の中で起きているさまざまな課題などに対して、地域活動を行っている企業団体の皆様と芦屋市や企業団体様同士がつながり、地域の可能性を発見したり、課題を解決する共生のまちづくりに向けたプラットフォームです。
普段、交流のない業種の方と出会うことで何か新しい発見があったり、この場で何かをするまでいなくても、まずは皆さんと気軽に日常の中でも、どうしようかなと思ったときに相談できる関係づくりができたと思っています。



子ども向けのイベントをしているので、企画に協力してもらったり相談できたら

働き手不足なので、イベントを通して、企業に親しみを持ってもらえたらと



自己紹介・PR抜粋



(株)プランツ・キューブ
杉原氏

障がい福祉サービス部門、就労支援センターワーク・キューブで体に優しいハンドピックコーヒーORIGINAL BLEND芦屋川を始めましたので、ご紹介させていただきます。
コミュニティビジネス・プレゼンテーション大会での、TAKAHASHI Coffeeさんの企画提案をきっかけに、協働でブランド化しました。
非常に手間がかかりますが、利用者さんの中にはじっくりこつこつ正確に作業するのが得意な方がおられますのでぴったりの仕事になっています。
先日ラジオ関西さんでご紹介いただき、予想以上の反響をいただき、予約制での販売になっております。
雑味がなくストレートでごくごく飲めるとご好評いただいております。
今後は販路の開拓をしてきたいと考えています。





保健福祉センターの2階で、月～土曜日に就学前の親子への事業を実施しています。
第1、2日曜日には「こどもの居場所支援」として、中高生を中心に学習支援等も含めた「やってみたい」ができる居場所づくりをしています。(いー場所居場所toi toi toi)
ぜひ企業・団体の皆様と協働できればと思います。



市こども福祉部
参事 茶嶋



(一社)
コミュニティ援助センター
中村氏

2019年に「こえる場！」で「まなび場！フェスティバルin芦屋大学」をし、学び・経験による地域コミュニティの再構築をしたいと思っていました。
今、困っている方々のちょっとしたことで相談できる、信頼・安心できる場、ワンストップサービス「安心サポートプラザ」に取り組んでいます。
電球を替えられない等あれば、学生のボランティアや近所の方が来てくれるような仕組みづくりをしていきたい。
これは個人でできることではないので、皆さんとのつながりから広がっていき、それが最終的に地域コミュニティの再構築、引いては色んな課題が解決されるのではと思っています。



アンケート抜粋

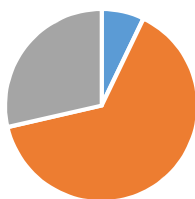
ご協力ありがとうございました！

本日のフリートークはいかがでしたか



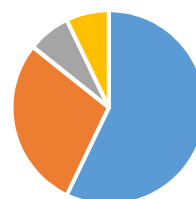
- 話しやすかった
- グループがあったほうが話しやすい
- その他

開催時間(90分)



- 長い
- ちょうどいい
- 短い

交流会の開催頻度



- 年に1回
- 半年に1回
- 四半期に1回
- その他

募集！

年度内に、次回「こえる場！」を企画しています。「こえる場！」で話したいテーマ、取り組みたいこと等ございましたら、地域福祉課までご連絡ください。

「こえる場！」ロゴマークは、「こえる場！」参画企業・団体様もご使用いただけます。使用の際は届出が必要です。詳細は市ホームページをご覧ください。

【「こえる場！」ロゴマーク】

形: 芦屋のAと六甲山、笑顔の口やつながり、ひろがり連鎖する様子をイメージしています。
色: 芦屋の海・山、芦屋愛、未来と多様な主体の参画をイメージしています。



《お問合せ》

芦屋市地域福祉課

TEL: 0797-38-2040

FAX: 0797-31-0614

Mail:

chiikifukushi@city.ashiya.lg.jp